

2021年11月吉日

TBWA\HAKUHODO と専門家の有志が制作 『気候変動アクションガイド』を公開

気候変動対策で「自分は何をしたらいいの?」と思っている人に知ってほしいアクションまとめ

TBWA\HAKUHODO (本社:東京都港区、代表取締役社長兼 CEO:今井明彦) と FUKKO DESIGN (本社:東京都渋谷区、代表理事:河瀬大作) は、気候変動対策で「自分は何をしたらいいの?」と思っている人に知って欲しい、現状や具体的なアクションをまとめた『気候変動アクションガイド』を発表しました。



気候変動 アクションガイド

KNOW 地球温暖化でどうなる?

まずは温暖化でいま何が起きているのを知ろう。
さらにこれから起きると言われる影響を踏まえ、何が必要か考えよう。

いま国内外で起きていること



World 地球の気温は19世紀後半から約1°C上昇しており、これは過去数千年で前例のないものです。この地球温暖化(気候変動)は、二酸化炭素(CO₂)やメタンなどの温室効果ガスが人間活動によって増えたことが原因です。

極端に暑い日が増加

Japan 近年の猛暑日と熱帯夜は、100年前と比べて約3倍の日数になっています。

猛暑日 … 日最高気温35°C以上
熱帯夜 … 日最低気温25°C以上

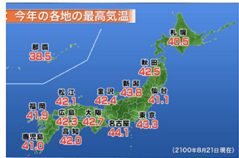
国内外で水害が増加

World 直近の50年間で世界的に気象・気候・水関連の災害と、それによる経済的損失が増加しています。

Japan 日本は気候変動による被害や損失のリスクが世界でトップクラスとされています。

近年の1日の降水量が200ミリ以上の大雨は、100年前と比べて約1.7倍の日数になっています。

2100年に起きると言われていること



Japan 対策しない最悪のシナリオでは2100年には生活に様々な支障が。猛暑日だけでなく、最高気温が40°Cを超える日が全国で増加。夏の外出などが厳しくなると予測されます。

暑さで死者年間1万5000人に

熱中症による搬送者数は全国各地で2倍以上に増加すると予測されています。死者は年間1万5000人にのぼる可能性も。

日本に来る台風が強まる

日本にやって来る台風の強度は強まり、日本の南海上で猛烈な台風の頻度が増加。被害が増えると予測されています。

生態系が変化し感染症リスクも

よく見かけた動物が消え、いまだにない動物などにより感染症リスクも高まる。

砂浜が9割消えて波の被害増

海面が1m上昇日本の9割の砂浜が消滅。津波や高潮の被害が起きやすくなるおそれ、砂浜が減り、観光に打撃も。

農作物の品質低下

品質の低い米の割合が増えるとの予測も。ミカンやナシなどの生産が困難な地域も広がり、食生活が変わるだけでなく、農業にも甚大な影響が。

水産物の漁獲量の減少も

日本周辺でマグロ・イカ・カニなどが減少するおそれ、ホタテの養殖も困難になる可能性。

© FUKKO DESIGN 協力: 荒木健太郎(雷研究者)、江守正多(気候科学者)、岡本基良(環境担当記者)、根本おる(コミュニケーター)、能條桃子(アクティビスト)、藤島新也(災害担当記者)

TBWA\HAKUHODO と FUKKO DESIGN は、これまでに『防災アクションガイド』として、「大雨&台風」「熱中症」「天気急変」「冬の荒天」「地震&津波」「女性向け防災」など、様々なテーマで自然災害に対する対策をまとめてきました。しかし、近年、地球温暖化によって自然災害が増加していると言われ、国内外で様々な被害が発生しています。そこで、短期的な災害への対策だけでなく、自然災害を減らす中長期的な対策も必要と考え、気候変動に関する具体的なアクションをまとめた『気候変動アクションガイド』を制作することにしました。

近年、気候変動対策として様々なアクションが紹介されるようになりましたが、「自分が今すぐできることは何?」という疑問の声をよく耳にします。その疑問にわかりやすく答えるために制作された本ガイドは、地球温暖化の現状や今後の地球環境の予測、さらには効果的な対策の紹介、アクションを始めるための基礎知識など、気候変動についての疑問に簡潔に答えている対策集になっています。

『気候変動アクションガイド』は「気候変動に関する政府間パネル」（IPCC）の第6次評価報告書の主執筆者の一人である国立環境研究所 江守正多さん、SGDs や気候変動に関する世界の情報を発信するコミュニケーターの根本かおるさん、Z世代のアクティビストの能條桃子さんなど、様々な専門知識を有するメンバーにも協力してもらいながらまとめました。

10月31日から11月12日まで開催された、気候変動に関する国際会議「COP26」をきっかけに気候変動に関心を持った方も多いかと思います。このような気運の中で少しでも具体的なアクションにつなげられたらと考え、このタイミングで発表しました。

今までの「防災アクションガイド」同様に、様々な情報が飛び交うSNSでの拡散を視野に入れ、わかりやすさはもちろんのこと、すぐに実践できるようにイラストなどを交えたデザインにしました。また、地球温暖化の現状を視覚的にもわかるように、グラフなどシンプルなものにしてわかりやすく紹介しています。自分自身がアクションしようと思う時はもちろん、周りの人を巻き込めるように気軽にシェアできる内容になっているので、ぜひ活用いただければ幸いです。

『気候変動アクションガイド』は、4枚でまとめています。

「KNOW 気候変動でどうなる？」

いま気候変動で起きていること、100年後に起きると予測されていることを解説しています。

「THINK 効果的なアクションを考えよう」

気候変動対策として必要なCO₂等の排出量削減について、個人や企業が行う対策の効果を説明しています。

「CHOOSE 個人でできる対策を選ぼう」

効果が大きい住宅や移動についてのアクションや、身近でできるアクションについてまとめています。

「ACT 小さなアクションから社会の変化へ」

アクションを始めるためにフォローすべきSNSアカウントや、必要な行動について紹介しています。

『気候変動アクションガイド』

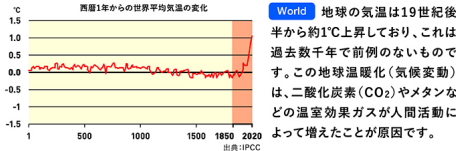
URL: https://www.tbwahakuhodo.co.jp/uploads/2021/11/TBWA-HAKUHODO_climate-change-action-guide.pdf



KNOW 地球温暖化でどうなる？

まずは温暖化でいま何が起きているのか知ろう。
さらにこれから起きると言われる影響を踏まえ、何が必要か考えよう。

いま国内外で起きていること



極端に暑い日が増加

Japan 近年の猛暑日と熱帯夜は、100年前と比べて約3倍の日数になっています。
猛暑日… 日最高気温35°C以上
熱帯夜… 日最低気温25°C以上



国内外で水害などが増加

World 直近の50年間で世界的に気象・気候・水関連の災害と、それによる経済的損失が増加しています。
Japan 日本は気候変動による被害や損失のリスクが世界でトップクラスと言われています。



2100年に起きると言われていること



命 暑さで死者年間1万5000人に
熱中症による搬送者数は全国各地で2倍以上に増加すると予測されています。死者は年間1万5000人にのぼる可能性も。

自然 生態系が変化し感染症リスクも
よく見かけた動植物が消え、いままでいなかった動物などにより感染症リスクも高まる。

食 農作物の品質低下
品質の低い米の割合が増えるとの予測も。ミカンやナシなどの生産が困難な地域も広がり、食生活が変わるだけでなく、農業にも甚大な影響が。

日本に来る台風が強まる
日本にやって来る台風の強度は強まり、日本の南海上で猛烈な台風の頻度が増加、被害が増えると言われています。

砂浜が9割消滅して波の被害増
海面が1m上昇し日本の9割の砂浜が消失。津波や高潮の被害が起きやすくなるおそれ。砂浜が減り、観光に打撃も。

水産物の漁獲量の減少も
日本周辺でマグロ・イカ・カニなどが減少するおそれ。ホタテの養殖も困難になる可能性。

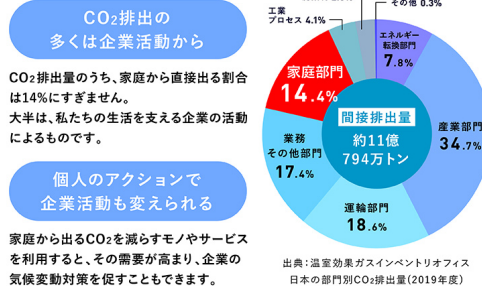
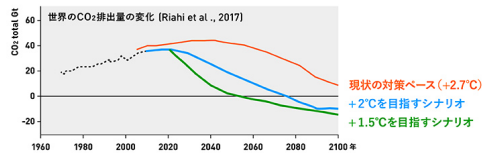


THINK 効果的なアクションを考えよう

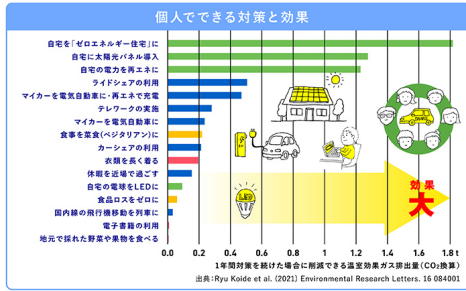
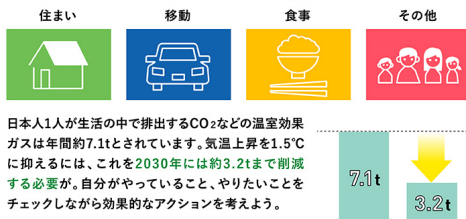
気候変動対策にはCO₂排出の削減が必要不可欠です。
対策によって削減量には差があるので、効果的なアクションを考えよう。

必要なCO₂削減量はどのくらい？

気候変動による被害をできるだけ軽減するために、世界の平均気温の上昇を1.5°Cに抑えることが目標になっています。そのためには、世界のCO₂など温室効果ガスの排出を2050年頃に実質ゼロにする必要があります。



個人でできる4種類の対策





気候変動 アクションガイド

CHOOSE 個人でできる対策を選ぼう

自分でできる対策の中で、効果が大きいものを検討しよう。
身近なことから始めるのも大切です。

★…1つにつき1年間の温室効果ガス0.2t削減

住宅と移動の対策は効果が大きい

お金がかかるなど簡単にはできないこともあるので、無理のない範囲で検討しよう。

住宅 ★★★★★★

自宅の電気を再生エネに

電力契約を再生可能エネルギーのプランに切り替えよう。スマホで簡単に切り替えられます。



住宅 ★★★★★★

太陽光パネルを設置しよう

一戸建てなら検討を。初期費用をかせげずに設置できる仕組みもあります。



移動 ★★

車を買う際はEVに

車をEV(電気自動車)にすると効果あり。購入代金が一部補助されます。



移動 ★

カーシェアを使う

車をあまり使わない人はカーシェアもおすすめ。EVのシェアサービスが広がっている地域もあるので確認を。



生活の中でできることから始めよう

効果が大きいものだけでなく、日常の様々な場面でできることからやってみよう。

仕事 ★★

テレワークを定着させよう

アフターコロナの社会でもテレワークを続け、通勤のエネルギーをゼロにしよう。



ファッション ★

衣類は大切に長く着よう

服を買う時には本当に必要か再確認しよう。目安は「30回以上」着るかどうか。



生活 ★

LEDへ交換しよう

よく使う部屋から交換しよう。トイレなどは後回しでもOKです。



食 ★

植物由来の食事へ転換

好みと栄養も考えながら無理のない範囲で始めてみよう。肉や魚の代わりに代替肉など植物由来の食事を。



レジャー ★

休暇は近場で過ごそう

休暇は飛行機などで遠出をせずに近場で遊ぼう。近くの山や川などでアウトドアや山登りを楽しもう。



日常生活でもいいことが!

太陽光パネルは非常時の電源にLEDは電気節約に肉も減らすことで健康に各対策のポジティブなことに注目してやりたいと思う対策を入りにしよう。

© FUKKO ESGIN 協力: 荒木健太郎(警研究者)、江守正多(気候科学者)、岡本基良(環境担当記者)、根本かおる(コミュニケーター)、能條桃子(アクティビスト)、藤島新也(災害担当記者)



気候変動 アクションガイド

ACT 小さなアクションから社会の変化へ

気候変動対策に関わりを持って、積極的に行動しよう。
仲間と繋がって、社会に大きな変化を起こしていこう。

役立つアカウントをフォロー

SNSで信頼できる公式アカウントや共感できる環境団体をフォローし、日常的に情報に触れるようにしよう。

Twitter

- 政府や研究機関からの情報
- 分科会 外務省 気候変動課 @CCMofa_Japan
- 国立環境研 対話オフィス @taiwa_kankyo
- 気候ネットワーク @kikonetwork
- Fridays For Future Japan @FridaysJapan

Instagram

- Friday For Future Japan @fridaysforfuturejapan
- NHK 地球のミライ @nhk_sdgs
- YouTube
- 動画チャンネル 環境省 COOL CHOICE
- 国連広報センター 気候変動の再生リスト

イベントやセミナーに参加

フォローしているアカウントの発信しているイベントやセミナーなどに積極的に参加してみよう。オンラインなら気軽に参加できます。ワークショップなどで仲間ができて、専門家とも繋がれます。

団体の活動などにも参加しよう

フォローしている団体の活動に興味を持ったら参加しよう。自分で活動する一歩を踏み出せば、驚くほど視野が広がります。行動をともにし、応援してくれる仲間が増えます。

自分の手で活動を広げていこう

いろいろな活動に参加して、自分ならではの問題意識が生まれたらチャンスです。仲間呼びかけ、自分の手で活動を広げていこう。

ACT 1

職場・学校での対策を話そう

電力の再生エネルギー比率などを上司や先生に聞いてみよう。それがきっかけで対策が進むことも。



ACT 2

署名活動に参加しよう

共感できる対策などの署名に積極的に参加しよう。Change.orgなどネットで簡単にできます。



ACT 3

政治に意思表示を

地元の政治家に気候変動対策への考えを聞き、積極的に意見しよう。必ず選挙で意思表示の投票を。



ACT 4

パブリックコメントで意見を届けよう

行政が政策を決めるときに住民に意見を聞く「パブリックコメント」に参加して、意見を言ってみよう。



決定権のある人は応援を

組織の気候変動対策が評価される時代です。組織の中で対策を進めようという声があれば、ぜひ応援してあげてください。組織も社会も変える一歩になるはずです。



© FUKKO ESGIN 協力: 荒木健太郎(警研究者)、江守正多(気候科学者)、岡本基良(環境担当記者)、根本かおる(コミュニケーター)、能條桃子(アクティビスト)、藤島新也(災害担当記者)

【プロジェクトリーダー TBWA\HAKUHODO 兼 FUKKO DESIGN 木村充慶 コメント】



『気候変動アクションガイド』は「防災アクションガイド」の展開版として制作しました。しかし、防災と気候変動対策では個人で行うことの意味合いが大きく違います。それは一番最初の打ち合わせで国立環境研江守さんにも指摘されました。「防災は自分が対策することで自分の命を守ることはできる。ただ、気候変動対策は1人の行動だけではほとんど変わらない。社会を、地球を変えなければいけないので」。

社会や地球をどうやって変えていくのか。その中で、個人ができることは何なのか。気候変動の対策としては個人以上に企業の対策が必要と言われる中で、そもそも個人でやれることなんてあるのか。

明確な答えがない中で、社会を変えるために個人ができることを可能な限り考えてみました。毎回2時間以上、時には4時間以上の打ち合わせを重ね続け、半年かかってようやくまとまりました。たった4枚でしかないのですが、メンバーみんなで何度も何度も議論しては書き換え、一言一句拘り抜いたものになります。ぜひ多くの方々に見てもらえたらと思います。

プロジェクトメンバー

プロジェクトリーダー：木村充慶（TBWA\HAKUHODO／一般社団法人 FUKKO DESIGN）

アートディレクター：上村昌（TBWA\HAKUHODO）

専門家：



江守正多（気候科学者）



根本かおる（コミュニケーター）



能條桃子（アクティビスト） など

TBWA\HAKUHODO (TBWA 博報堂) について

2006年に博報堂、TBWA ワールドワイドのジョイントベンチャーとして設立された総合広告会社です。博報堂のフィロソフィーである「生活者発想」「パートナー主義」とTBWA がグローバル市場で駆使してきた「DISRUPTION®」メソッドを中心とした独自のノウハウを融合。質の高いソリューションを創造し、クライアントのビジネスの成長に貢献します。「DISRUPTION®」は既成概念に縛られず、常識を壊し、新しいヴィジョンを見いだすTBWA\HAKUHODOの哲学です。マーケティングに限らず、ビジネスにおけるすべての局面でディスラプションという新しい視点を武器に事業やブランドを進化させるアイデアを生み出します。

<http://www.tbwahakuhodo.co.jp>

FUKKO DESIGN について

一般社団法人 FUKKO DESIGN は、「民間ビジネスの力を結集して新たな“復興”をつくる」を活動テーマに、平時のときから行政、民間企業、メディアとのネットワークを構築し、有事の時にすぐにサポートする体制をつくるほか、有事の際の被災地に関する情報発信の支援、復興タイミングにおける地域の魅力発信、企業のマッチングサポート支援などをトータルにデザインしていく団体として活動していきます。

<https://fukko-design.jp/>